

平成 25 年 9 月 5 日



国土交通省
九州地方整備局宮崎河川国道事務所

宮 崎 県
県 土 整 備 部 河 川 課

記者発表資料

第 12 回宮崎海岸侵食対策検討委員会を開催します

～3つ目の柱である埋設護岸工事の着手により「宮崎海岸の侵食対策」本格始動へ～

「宮崎海岸の侵食対策」のうち埋設護岸については、「できるだけコンクリート以外の材料を使う」という方針に基づき、本施工としては全国初となるサンドパック工法の採用を目指して検討を進めてきましたが、去る8月12日に開催された第8回技術分科会において、宮崎海岸への適用が可能であるとの結論が得られました。

また、「宮崎海岸の侵食対策」は「侵食対策の検討、計画」の段階から「侵食対策の実施、効果・影響の確認」の段階へ移行していますが、同日に開催された第2回効果検証分科会において、侵食対策による効果・影響を評価する手法がとりまとめられ、その手法に基づく年次評価（案）が作成されました。

両分科会の検討結果を踏まえ、埋設護岸へのサンドパックの適用について、また、年次評価（案）を踏まえた最終的な評価について、宮崎海岸侵食対策検討委員会で検討を行い、了承が得られれば、埋設護岸については10月には着工し、効果検証については本年より本格的に運用を開始します。

【第12回 宮崎海岸侵食対策検討委員会】

○日 時：平成25年9月18日（水）14：00～16：00

○場 所：宮崎県企業局庁舎1階 県電ホール（宮崎市旭1丁目2番2号）

○内 容：1. 大炊田地区及び動物園東地区に整備する埋設護岸へのサンドパックの適用について
2. 侵食対策による効果・影響を評価する手法及び同手法に基づく年次評価について

○会議の公開について

一般の方に公開します。

なお、会場の都合上、先着30名程度の入場とさせていただきます。

【参 考】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸（宮崎港北端～一ツ瀬川河口間）の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域（大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部）においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護岸を整備します。

お問合せ先

国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所

代表：0985-24-8221

技術副所長 浦山 洋一（内線204）

海岸課長 真鍋 将一（内線381）

PCホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>